

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束防止について、ミーティングや勉強会等を実施しているが、声かけの際、強い口調になることがある。	スピーチロックにならない声かけをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが分かりやすい内容で、内部研修を実施する。 ・重度認知症状のある入居者に対する対応法について、意見交換及び対応法の検討を継続して行っていく。 ・定期的に自己点検チェックリストを使用することで、スタッフ個々の日常ケアの振り返りをする。 	12か月
2	48	重度認知症の方のケアにスタッフが集中することにより、軽度認知症の方の楽しみや気分転換を図る支援ができなくなってきている。	軽度認知症状の方も、楽しみや気分転換を図れる環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症状に応じた余暇活動の内容を検討していく。 ・地域ボランティアの情報を収集し、趣味クラブ等の実施を検討する。 	12か月
3	49	上記内容から、外出が困難な状況になってきている。	ADL状況に応じた外出支援ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の心身の状態に合わせ、外出行事の企画を立てる。 ・家族へ外出支援の協力を依頼する。 	12か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。